

## 2015年8月

幼児期の戦争の恐怖拭いきれず  
安倍氏へのシュプレヒコール極まれり  
「ガーデアン」海外派兵と大見出し  
傘さして歩くも嬉し金沢の夜  
クーラーよ壊れる前に合図して  
数多なる百合の妖しく峠道  
網戸すら鬱陶しきの酷暑なり  
亡き友の思い出多き夏まつり  
薄紙が腕に貼りつく暑さかな  
鈴虫に残暑の午後も癒されて  
脱皮するウエディングドレス身に纏

## 2015年9月

彼岸過ぎ のろりのろりと 涼が来る  
静寂に 山頂に青 青に涼  
青々の せいせい 芝刈る汗の 夏日中  
舞阪の 青き灯台 半世紀  
ドライブの 窓に涼やか 翳雲  
墓参り 一列に咲く 彼岸花  
天高く お芋の味も ひとしおに  
秋の空 ボール追う子の いとおしさ  
もぎたての イチジク届き 夏は行く  
久々の 雨音聞きつ 香を炊く  
鈴虫が 仲をとりもつ はは 義母と母  
秋風や 夕空晴れて 吹きにけり  
反戦の 声も届かず 秋の暮  
煩雑な 統計調査 秋暑し  
被災地の 爪痕酷し 九月尽  
涼風に 誘うチラシの 旅だより  
空蝉の しがみつきおり 嵐吹く  
酷暑去る 自律神経 みだれ残し  
灯笼に 鎮魂祈り 流れ追ひ

赤とんぼ 夢追いかけし 幼き日  
菊の香に 泣き祖父の顔 思い出し  
曼珠沙華 今年も咲くや 庭の間に  
氾濫の 日本の川に 不安顔  
公海で 中国船が 秋刀魚採り  
寝惚けても 獅子の牙なり 中国は  
句会終へ 見るもの総て 文字踊る  
ツピツピツー 愛らしき声に 歩み止め  
イスラムの テロの起源や ビンラディン  
人類は ホモサピエンス 進化論  
メモしたが 書いたところを 忘れてる  
孫達の 成長驚く 家族旅  
大舞台 絢爛豪華 胸踊る  
大雨も 堤防きれずに 安堵する  
友よりの 手作り野菜 調理嬉し  
安倍さんに 全てを負わせる 自民党  
これほどの 中国にさせ 大慌て

## 2015年10月

佐鳴湖を 染めて落ちゆく 真っ赤な陽  
秋深し 夕日に染まる 雲の群れ  
栗ごはん 幸せ色の 夕餉かな  
みずうみに 白鷺おりて 秋深し  
紅葉の たよりもうれし 旅心  
松茸を 私がブックマーク届ける 絵手紙で  
金木犀 道ゆく人に おすそわけ  
佐鳴湖の 萱刈る音や 響きたり  
枯葉舞ふ中で豚汁 食しけり  
秋の光が 孤独な金魚 赤く染め  
書を読み 秋の夜長に ひとり居る  
人類の 軌跡探りつ 月眺む  
加齢脳 あふれる情報 素通りし  
理不尽死 永久に忘れじ 若者を  
休む日々 グランドゴルフが 待っている  
草取り 戻れないのに 未練あり

先輩と 別れの辛さ 涙する  
彪大な 貿易圏出来 どう進む  
災害は 年々拡大 予想超す  
老<sup>ろう</sup>の道 適当なのが 丁度いい  
我が歳と 同じと聞きし 駅舎かな  
幼子の 成長見える トビラ越し  
押入れに 落着く間もなく 布団出す  
ラグビーも すぐ熱くなる 浮世かな  
マイナンバー 振り分けられて 思案中  
頑張れと 体育祭の 絆よし  
見放題 映画がのっとる 睡眠時間  
つれないね 居眠り禁止の 図書館は  
一億総 思い出すのは 懺悔だけ  
南京に 二階から 銭出せぬ  
翁長さん 「日本政府」と言う裏は  
マララさん 世界はペンで 変えられる  
江利子さん ピアノ高らか 歌い合い  
新東名 これぞ日本の 国土軸  
無限大 銀河系外 ビッグバン

## 2015年11月

山峡の いなざ湖ほとり 錦秋の美  
追い支度 明日になり また明日になり  
ラ・フランス つい爆弾を 連想す  
貧乏を 笑ひ飛ばして 冬の風  
冬眠に 入りしか 池の牛蛙  
枯れ蓮や 雀が一羽 秋深し  
秋刀魚 焼く匂ひて千里 秋の風  
名優が また一人逝く 枯尾花  
やって来る 歳暮のカタログ もう一年  
グランドの 紅葉の下 球を打つ  
時雨降る 紅葉を散らし 秋終わり  
新米を 奉納できる 神来月  
睡蓮の 浜名湖連想 モネの館  
鍋囲み 語る友の顔 若々し

吹き寄せる 落葉の中より 楠香る  
紅葉を 揺らし行き交ふ 京旅情  
浜松で ムラサキツバメ 見て仰天  
朝顔や バロック響く 窓の下  
藤袴 舞ひ来る蝶に 蜜授け  
残忍な アイエス戦禍 広まれり  
広大な 宇宙空間 神の園  
重力で 光曲がると シュタイン氏  
秋深し 真っ赤に燃ゆる 山の肌  
新しき 制度早々 贈賄か  
やせ我慢 長寿は辛い 気力だけ  
年老いて 軟らかな心 行き場なし  
飛行機が 日本で出来た 初飛行  
政治家よ ボーナス給料 多過ぎる  
二丁目の 燃える威力は 何からか  
ボケ予防 福寿会での 五七五  
幸せの 健康家族 年金で  
野球好き 原監督の 退陣惜しむ  
指の傷 勤労奉仕の 影の跡  
若い気で 歩む足元 老いを見る  
ホッとす 花一輪の 思いやり  
宇宙語で 説明受ける ケータイ屋  
日本一 地元活性 家康くん  
千年の 源氏の世界 鮮やかに  
若き日の 渋谷の街は 今いずこ  
旅よし 帰れば疲れ 倍になり  
初飛行 逸る心が 空に舞う  
顔見たい ピタゴラスイッチ 造る人  
書いて消し 消しては綴る 五七五  
穏やかな 趣味のつもりが 負担増す  
まんとまあ 違憲好みの 議院さん

## 2015年12月

冬なれど 生暖かき 餅つき会  
枯草に 落葉もまとふ 空き地かな  
登校の 子等急ぎ立てて 落葉舞ふ

山茶花の 紅一輪で 華やぎぬ  
線を引き 綱を引き張り 幕を引く  
クリスマス 体調不良 飾りなし  
枝振りが 立派な松で 千両プラス  
求心を 手許に置いて 見る駅伝  
空青く 小枝渡りて めじろ来る  
街角に バレリーナの如く 枯れ葉舞ふ  
エルニーニョ 三寒四温 年の暮  
新海苔が 友から届く 年の暮  
新年を 元気で迎え 若い気で  
年の瀬や 第九を聴いて 明けにけり  
方丈の 真白き壁に 紅葉あり  
生き生きと 餅つきするや 三世代  
ポジティブに 背を押されて やる気です  
何かをね 忘れたことは 覚えてる  
まぐれでも 入れば嬉し ホールインワン  
ブラジルは 自由と危険が 同居する  
ぶらぶらも 楽しかりけり 朝散歩  
砂風呂で 身体の毒気 洗い流す  
お餅つき 昔遊びで 戯れる  
同級生 傘寿を祝して 夜を明かす  
足悪く 家族に頼り 友に会う  
和解なく 空爆に終わる 争う国  
親よりは スマホ頼りて 対話減り  
澄みし空 仰ぎいで思わず 深呼吸  
「枯葉よ」と口ずさみたくなり 過ぎし日よ  
年賀状 今はメールで 味気なし  
ボケ防止 麻雀楽し 年忘れ  
朝まだき 佐鳴の湖や 夢の中  
五七五 俳句川柳 無限の詩  
地球には 神の造りし 奇跡あり  
総活躍 ケネディーからの 借り物か  
エッ日本 夫婦別姓 一国か